

## 議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	平成30年度第17回政策会議
開催日	2019年(平成31年)3月28日(木) 8:30~10:30
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長, 小野副市長, 宮治副市長, 平岩教育長 (政策会議委員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉健康部長, 保健所長, 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長, 消防局長(欠席), 教育次長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長(欠席)
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 平成31年度の人事評価の給与への反映について(総務部) (2) 報告・情報提供等 ア ゴールデンウィーク10連休中の対応について(総務部) イ 平成31年度「市民の方に対する”あいさつ・声かけ運動”の実施について(依頼)(総務部) ウ 職員ポータルシステムの動作遅延による業務への影響調査の結果について(総務部) エ 平成30年度市政運営の総合指針2020に関する市民意識調査の集計結果について(企画政策部) オ 「藤沢市市政運営の総合指針2020」事業集(平成31年度版)について(企画政策部) カ 平成31年度政策会議・幹部会議の開催予定について(企画政策部) キ 平成31年度第1回幹部会議の開催について(企画政策部) ク 平成31年度政策課題等に関する理事者ヒアリングの実施について(依頼)(企画政策部) ケ 市議会からの意見・要望等への対応について(企画政策部) コ 平成31年度組織改正に基づく, 企画政策部における体制づくりについて(企画政策部) サ 平成31年度市長定例記者会見の活用について(企画政策部) シ 平成31年度地域との意見交換について(市民自治部) ス 頼りになる拠点施設の構築に係る地域課題解決支援チームの設

議 事	<p>置等について（市民自治部）</p> <p>セ 藤沢型地域包括ケアシステムの推進に係る関係団体等との新たな協定締結について（福祉健康部）</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 議題（審議事項）</p> <p>1 平成31年度の人事評価の給与への反映について （説明者：総務部長）</p> <p><input type="checkbox"/>総務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>≪内容≫</p> <p>平成31年度の人事評価の給与への反映について報告するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>○なし</p> <p>≪結果≫</p> <p>了承。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア ゴールデンウィーク10連休中の対応について （説明者：総務部長）</p> <p><input type="checkbox"/>総務部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>≪内容≫</p> <p>ゴールデンウィーク10連休中の各部局の対応について情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>○資料表中の「施設等の名称」で保健所と表記されているところは、正確には藤沢市保健所・南保健センターである。</p> <p>⇒広報紙面のスペースのこともあるが、市民にとってわかりやすい表現になるように調整する。</p> <p>○ゴールデンウィーク中に臨時開設（開館）又は閉設（閉館）があることは、本資料で確認できるが、市民にとってわかりにくいのではないか。ゴミの収集は、土日祝日も回収している。広報ふじさわ4月25日号で、改めて、ゴールデンウィーク全体の取扱いを再掲載するなど、わかりやすい周知方法について検討いただきたい。</p> <p>⇒広報ふじさわ4月25日号で検討する。</p> <p>○臨時業務と通常業務を合わせて記載するなど、わかりやすい周知と</p>

<p>内 容</p>	<p>なるようお願いしたい。</p> <p>⇒通常の休日業務取扱いについては記載していないが、ご指摘の件も含めわかりやすい表現となるように周知していく。</p> <p>○どこの窓口にしても、多くの市民の方は、年に1回か2回、あるいは人生に1回、2回しか相談にこない場合も多い。臨時窓口の開設に当たっては、市民がしっかりと相談等を受けられること、また職員も対応できるように、意識していただきたい。</p> <p>○本資料の表記では、ゴールデンウィーク期間中に市民窓口センターが5月2日しか開設しないように見えてしまう。市民窓口センター・各地区の市民センターは対応できる体制を組んでいる。広報紙が限られた紙面だと認識しているが、わかりやすく掲載していただきたい。</p> <p>○保健所については、市民窓口センター・市民センター福祉相談窓口などと連携・対応できる体制を確認している。</p> <p>イ 平成31年度「“市民の方に対する”あいさつ・声かけ運動」の実施について（依頼）</p> <p style="text-align: right;">（説明者：総務部長）</p> <p>□総務部長から、資料1～2に基づき情報提供が行われた。</p> <p>〈内容〉</p> <p>接遇力のさらなる強化を狙い、市民サービスの向上につなげるため、本庁舎、防災センター及び湘南NDビルに職場がある職員を対象に、4月を除く平日毎日実施するもの。また、市長、副市長、教育長及び部局長にも参加を依頼するもの。</p> <p>〈主な意見等〉</p> <p>○2名ずつということ間違いはないか。</p> <p>⇒資料1の2のとおり、クレドキャプテンが指名する各所属で選任された2名をお願いしたい。</p> <p>○産業労働課の3日間でいうと、ということか。</p> <p>⇒1日につき2人が3日間である。日数は、各課の人員規模に応じて割り振らせていただいたものである。</p> <p>○3日間×2人ということか。</p> <p>⇒そのとおりである。</p> <p>○クレドキャプテンは課長、クレドクルーは担当者だが、キャプテンやクルーも参加するのか。</p> <p>⇒クレドキャプテン、クレドクルーが参加してもよいが、選任された</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>人員でよい。</p> <p>○全部で何人になるのか。 ⇒2名である。それより多くてもよい。</p> <p>○選任者は重複してもよいか。 ⇒各所属におまかせする。</p> <p>ウ 職員ポータルシステムの動作遅延による業務への影響調査の結果について</p> <p style="text-align: right;">(説明者：総務部長)</p> <p>□総務部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>2019年1月31日から2月8日まで実施した、職員ポータルシステムの動作遅延による業務への影響調査の結果について、報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○責任の所在、今回の損害に対する考え方について、弁護士の見解としては、システムが構築されて1年間問題なく正常に稼働していたこと、これまで同様の事象が発生していなかったことから、システムの構築の際に何らかの瑕疵があったという可能性は低いのではないかというものである。現状、機能が有効となった原因が判明しない中で、補償を求める相手がない。またリース会社との契約は、動作の遅延や未知のバグについては賠償の対象外である。現状で補償を求める相手がないという状況になっているが、今後バグや不具合などの原因が特定できれば、機器製造業者等に損害賠償を求めることは可能となるのではないかということである。これらを踏まえて、本事象の原因がハードウェア本体に備わったピーク時に電力をカットする機能が、意図せず有効となり、それによりサーバへの電力供給が不足したということだが、何故有効となってしまったのかの原因は、不明の状態である。損害が生じたことは事実だが、責任の所在を特定できる案件ではないと考えざるをえないということであり、総務部IT推進課、リース会社、製造メーカーに対して、損害賠償を求めることには至らないという判断をしているものである。危機管理という視点から、当事者になる可能性がある総務部が、本件について検証し、損害賠償等についての市の判断としての見解を述べることは適さないことから、副市長である私からの報告とした。</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>○資料２（１）パソコンの利用形態で「今後どのようなパソコンを利用するのが望ましいのか」というのは、専用端末についてのことか。各課のパソコンのことか。</p> <p>⇒職員に配置しているパソコンは、シンクライアントで、サーバ側で動作しており、セキュリティ、コスト、冗長化の観点から、本環境を導入している。どの部署に行ってもパソコンを利用できるということが可能である。ところが、今回サーバに問題がある状態であったため、サーバを介さない、動作遅延の影響を受けないパソコンを１３台配置した。危機管理の観点から、そういったサーバを介さないパソコンの有効性も視野に入れて検討していくということである。</p> <p>エ 平成３０年度市政運営の総合指針２０２０に関する市民意識調査の集計結果について</p> <p style="text-align: right;">（説明者：企画政策部長）</p> <p>□企画政策部長から、資料１～４に基づき情報提供が行われた。</p> <p>≪内容≫</p> <p>市政運営の総合指針２０２０のベンチマークとして、毎年実施している市民意識調査の平成３０年度の集計結果をまとめたため、情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>○本集計結果はいつから掲示されるのか。</p> <p>⇒市ホームページは明日２９日から公開するとともに市議会へ情報提供し、職員用には会議終了後にライブラリに搭載予定である。</p> <p>○全体の傾向の確認と細かなところの分析もできる、１３地区の地域ごとに分析して施策等に活かしてほしい。近々、理事者が各地区を回るので、それまでに是非分析をしていただきたい。</p> <p>○標本誤差はその都度変わるのか、簡単な計算式があれば教えていただきたい。</p> <p>⇒毎年同じ条件で抽出しているため、毎年同じ数字となっている。これは統計学上の標準的な算定方法で計算されているものである。</p> <p>○３，０００人規模の調査だと、２．８％ということになるのか。</p> <p>⇒市の総人数で信頼度９５％を得るために何人ぐらい必要かということから算定している。もう少し小規模でも同じ信頼度を保てるが、総人口の小さい地区についても信頼度を保てるようにしたものである。</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>オ 「藤沢市市政運営の総合指針2020」事業集（平成31年度版）について  （説明者：企画政策部長）  <input type="checkbox"/>企画政策部長から、資料に基づき情報提供が行われた。  &lt;&lt;内容&gt;&gt;  「藤沢市市政運営の総合指針2020」事業集（平成31年度版）を取りまとめたので、庁内周知を図るもの。  &lt;&lt;主な意見等&gt;&gt;  なし。</p> <p>カ 平成31年度政策会議・幹部会議の開催予定について  （説明者：企画政策部長）  <input type="checkbox"/>企画政策部長から、資料に基づき情報提供が行われた。  &lt;&lt;内容&gt;&gt;  平成31年度政策会議・幹部会議開催日程について情報提供するとともに、各部局に周知を依頼するもの。  &lt;&lt;主な意見等&gt;&gt;  なし。</p> <p>キ 平成31年度第1回幹部会議の開催について  （説明者：企画政策部長）  <input type="checkbox"/>企画政策部長から、資料に基づき情報提供が行われた。  &lt;&lt;内容&gt;&gt;  4月2日（火）に平成31年度第1回幹部会議を開催することについて通知し、全管理職の出席を依頼するもの。  &lt;&lt;主な意見等&gt;&gt;  なし。</p> <p>ク 平成31年度政策課題等に関する理事者ヒアリングの実施について（依頼）  （説明者：企画政策部長）  <input type="checkbox"/>企画政策部長から、資料1～4に基づき情報提供が行われた。  &lt;&lt;内容&gt;&gt;  各部局における課題を明確化し、目標管理における組織、個人の目標設定を効果的に進めるとともに、施策の総合調整及び横断的な政</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>策課題調整を実施するに当たり、実施方法等について周知し、依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○資料1の4(1)ア(ア)について、議題として課題を抽出するのは各部局がするのか。また下線を付すのはどういう場合か。</p> <p>⇒下線を付すのは、資料1裏面(2)イの理事者との調整を要するものである。</p> <p>○各部局で下線は付していただくが、理事者からリクエストする場合もある。</p> <p>○行政委員会は日程には入っていないが、政策課題ヒアリングの対象か。</p> <p>⇒日程には入っていないが、提出の対象であるまた、下線の件の補足だが、締め切りを4月12日と設定しているが、これは先に理事者にご確認いただき、その時点で理事者からのリクエストを想定しているものである。</p> <p>○部局を横断して検討したい、協働したい事案がある。その場合は、あらかじめ各部局で調整して提出し、合同ヒアリングという形でのいいか。また、内容によっては一律30分のヒアリング時間は短いと感じる。</p> <p>⇒部局を横断して検討したい事案がある場合は、柔軟に対応させていただく。また、調整時間の件については、予備日も設けているので相談していただきたい。</p> <p>ケ 市議会からの意見・要望等への対応について (説明者：企画政策部長)</p> <p>□企画政策部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>市議会からの意見・要望等への対応について、調査を行うに当たり、年度末の確実な事務引継を含め、協力を依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○資料の1(1)ウについて、特に意識をしていただきたい。前向き答弁ではないが、政策的に検討を要するものや課題があるものについても意識いただきたい。次に、オについて、各会派から予算の時期や2月議会の前の段階で要望書が出ているものがあると思う。それらの要望書は総務部の管理だが、今回の対象になってくる課題もあるのではないか。本会議最終日の意見の中で要望もされているの</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>ではないか。漏れがないようにして留意いただきたい。</p> <p>コ 平成31年度組織改正に基づく、企画政策部における体制づくりについて</p> <p style="text-align: right;">(説明者：企画政策部長)</p> <p>□企画政策部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>事故や不祥事、風評被害などの危機が発生したとき、危機を制御し損失を最小限にするため、危機管理事案発生時の流れ及び対応フロー等について情報提供するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○まず、今後このことをどのように周知していくか、4月の組織改正を踏まえ、説明いただきたい。</p> <p>⇒庁内周知に関しては、この後、各部局総務課宛に別紙1の関係者連絡先（携帯番号を含め）をお知らせする。フローどおりにいかない事例も想定される、順次改善していきたい。まずは4月当初からこの形で始めて行くということをご理解いただきたい。</p> <p>○何のために体制づくりをしているかということ、各部局総務課には理解していただきたい。このこと背景・趣旨を説明する必要がある。形だけ整えたということではいけない。その機会を設けていただきたい。</p> <p>⇒背景・趣旨については、4月早々の総務主管者会議等で説明する。</p> <p>○内部統制推進室の組織改正とあわせて説明したほうがわかりやすいのではないか。</p> <p>○資料の5の点線で囲まれた部分、これを俯瞰で見ないとわからないのではないか。</p> <p>⇒ご指摘を踏まえ、内部統制庁内推進委員会なども含め、4月に入ってから周知する。</p> <p>○内部統制庁内推進委員会は各部局総務課の全てが委員ではない。</p> <p>⇒各部局総務課には別に総務主管者会議でも周知していく。</p> <p>○今後カスタマイズするということだが、教育委員会としては、学校は独自の体制があり、危機管理事案発生時の対応が若干異なる。今後、学校における危機管理事案の対応について、相談・検討させていただきたい。</p> <p>○費用の問題もあるだろうが、個人の携帯を利用するのはいかがなものか。業務用の携帯を用意したほうが、良いのではないか。</p>
------------	--



<p>内 容</p>	<p>⇒ご指摘のとおり、専用携帯を企画政策課で持つことも検討しているものである。</p> <p>○電話というのも良いが、危機管理のツールとしては、電話連絡よりラインが主流になっているのではないか。SNSを活用した連絡手段も検討できないか。</p> <p>⇒これは決定ではない。フローについても、このとおりにいかないことの方が多いただろうと思っている。また個々の事案によって対応が違う。大本の流れを示すということでご理解いただきたい。</p> <p>○説明資料7(2)については、当面、別紙1が危機管理発生事案の取扱基準になる。別紙2は参考のフローだが、必ずこのとおりに対応できるとは限らない。</p> <p>○4月の総務主管者会議で、関係者連絡先の携帯番号を示していただけるのか。</p> <p>⇒各部局総務課宛てにメールする。やむをえない事情で出られないことを考え、2人の主幹の携帯番号も記載する予定である。3人体制で行なう予定だが、周知は各部局総務課までと考えている。</p> <p>○従来のリスク発生時の報道発表の取扱基準を廃止して、別紙1の資料のとおりとなり、随時改善していくということか。</p> <p>⇒そのとおりである。</p> <p>サ 平成31年度市長定例記者会見の活用について (説明者：企画政策部長)</p> <p>□企画政策部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>〈内容〉 市政の積極的な情報発信とパブリシティの推進のため、平成31年度市長定例記者会見の活用を呼びかけるもの。</p> <p>〈主な意見等〉 なし。</p> <p>シ 平成31年度地域との意見交換について (説明者：市民自治部長)</p> <p>□市民自治部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>〈内容〉 理事者と市内13地区の地区郷土づくり推進会議委員との意見交換等を実施するに当たり、日程等要領について情報提供するもの。</p> <p>〈主な意見等〉</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>なし。</p> <p>ス 頼りになる拠点施設の構築に係る地域課題解決支援チームの設置等について</p> <p style="text-align: right;">(説明者：市民自治部長)</p> <p>□市民自治部長から、資料1～2に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>行財政改革2020実行プランに位置付ける「頼りになる拠点施設としてのあり方の検討」におけるモデル事業の実施に向けた報告を行うとともに、地域課題解決支援チームの運営に係る協力を庁内に依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>セ 藤沢型地域包括ケアシステムの推進に係る関係団体等との新たな協定締結について</p> <p style="text-align: right;">(説明者：福祉健康部長)</p> <p>□福祉健康部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>藤沢型地域包括ケアシステムの推進を目的に、「地域見守り活動に関する協定」及び「空き家対策の推進に関する協定」を関係団体と締結することについて報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○訪問型見守りと来店型の見守りで、どちらのほうの割合が多いと想定しているのか。来店型の方が多いように感じるが。</p> <p>⇒来店型が圧倒的に多いと思っている。訪問型では宅配便などデリバリー業者などが期待できるがそんなに多くはない。割合についてはデータを持ち合わせていない。</p> <p>○協定締結団体との協力が重要であることから、別紙1は来店型を先に記載したほうが良いのではないか。また、イメージ図の中央に〈連絡・報告窓口〉の記載があるが、平日の日中限定となっており、休日夜間はどうするのかということにならないか。</p> <p>⇒緊急の際は、まず救急や警察だと思うが、地域包括ケアシステム推進室でも緊急対応できるような体制になっている。ただ、これを市民にどこまで示すのか、協力団体に示すものとは違ってくると思っている。</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>○別紙1のイメージ図の矢印の表現方法について、各警察署等への矢印が、点線で表記されており、市側への矢印が実線で表記されているがこれでよいのか。緊急を要する場合は、まず警察と消防である。そのあと市としても体制はできていることを示した方がよいのではないか。</p> <p>⇒現実を考えると、気づきとつながりという面でイメージ図の左側の緊急性がない場合が圧倒的に多くなってくるため、このようにしたが、表現方法としては検討させていただく。</p> <p>4 その他 なし。</p> <p>5 閉会</p>
------------	---